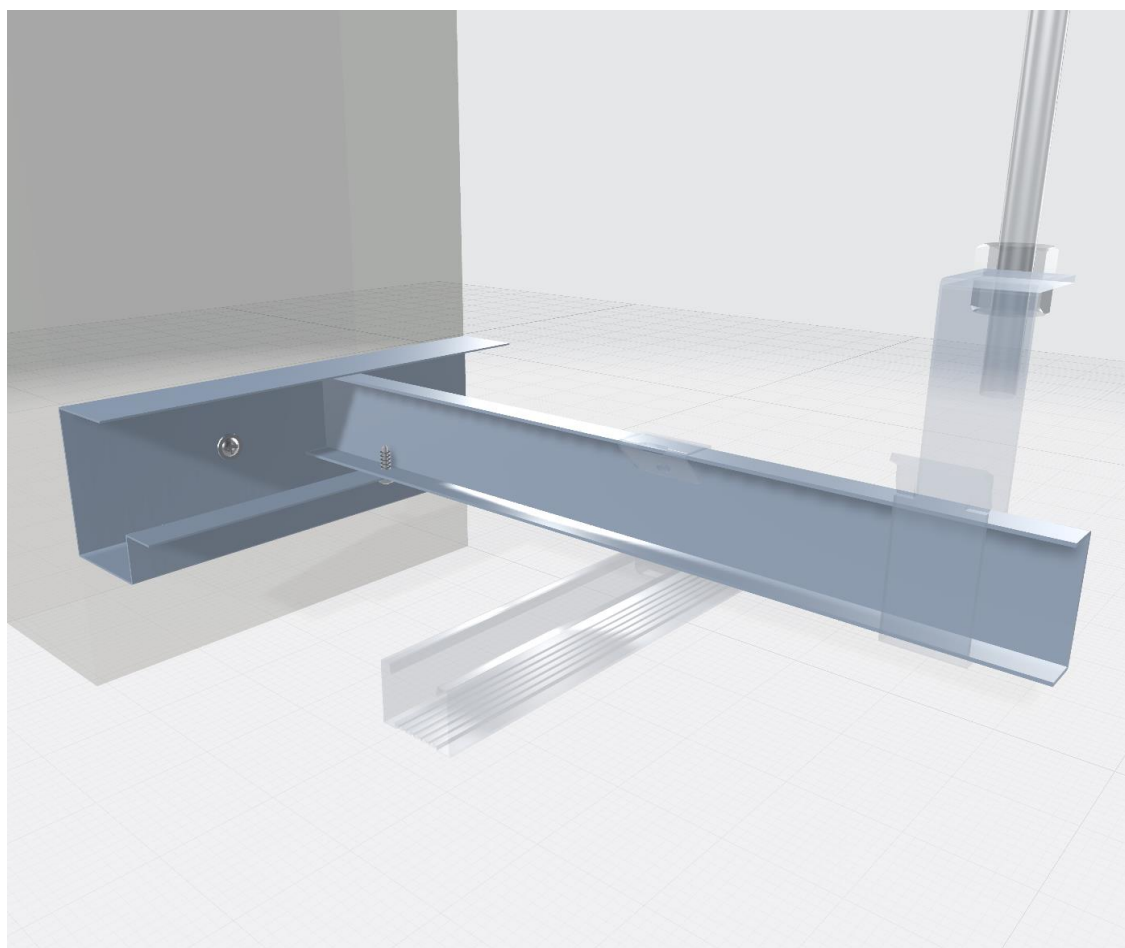


# ランナー野縁

## 標準施工要領書



# INDEX

取扱注意事項	・ ・ ・ ・	1
施工上の注意事項	・ ・ ・ ・	1
1. 適用範囲	・ ・ ・ ・	2
2. 形状・寸法及び種類		
2-1 形状・寸法及び種類	・ ・ ・ ・	2
2-2 構成部材	・ ・ ・ ・	//
2-3 補強材野縁受けの最大限度長さ	・ ・ ・ ・	3
3. 標準施工要領		
3-1 ランナー野縁の取り付け	・ ・ ・ ・	4
3-2 補強材野縁受けの取り付け	・ ・ ・ ・	//
3-3 野縁の取り付け	・ ・ ・ ・	5
3-4 仕上げ材の取り付け	・ ・ ・ ・	//

## 取扱注意事項

取扱事故防止のため下記事項をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

1. 搬入時、鋼製下地材は滑りやすいので、資材の落下やずり落ちが起きぬよう事前の対策を充分にたて、**けが**や腰痛の防止を行って下さい。（現場での小運搬は無理のないようご注意下さい。）
2. 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時には**バリ**も生じやすいので手を傷つけないようにして下さい。（皮革製の保護手袋を着用して下さい。）
3. 素手による取り扱い、または素肌の露出部は**けが**をするおそれがありますのでご注意下さい。（素肌はなるべくさけるような服装にして下さい。）
4. 梱包用スチールバンド<sup>®</sup>および針金等の切断時ははねあがり等による**けが**が生じますのでご注意下さい。（梱包をとく場合は状況判断して作業して下さい。）
5. 搬入時や保管時について次のような事項にご注意下さい。
  - ① 原則として、屋内の湿気をよばない場所に保管して下さい。（やむを得ず屋外に置く場合には防水シート等をかけて下さい。）
  - ② 製品は、地面に直接置かないで平らなところにかい木をして水平に置き、積み重ねる場合は間木を施して荷崩れを起こさないように置いて下さい。
  - ③ クレーン荷揚げ等の運搬に際しては、布製平型吊りバンド<sup>®</sup>を使用するなど製品の角や表面の損傷にご注意下さい。また、製品の上に重い物を乗せないで下さい。

## 施工上の注意事項

1. 本製品は天井内のフコが狭い場所や配管等で吊元が取れないような場所で有効な商品です。条件外の長さ・重量での使用は厳禁です。（p-3 表3. 参照）
2. 本製品を施工する際は施工要領書に記載の施工手順、使用部材を厳守して下さい。定められた手順や部材、ビス等に差異があった場合、仕上がりや強度に問題が発生する可能性があります。
3. 本製品は通常の天井より施工時間を短縮する事が可能な商品ですが本来の目的以外での使用は厳禁です。天井内のフコが十分ある場合や吊元が確保できる場合は一般的な天井施工を推奨します。

※ 製品改良の為、予告なく形状・寸法等変更することがあります。  
※ 無断での複製、転載禁止。

## 1. 適用範囲

この施工要領書は、障害物で野縁受けを吊れない場合や開口が狭い場合に使用できる「ランナー野縁」について規定する。壁際を強固に固定可能なので地震時の天井壁際破壊を防止し、かつ施工が容易なので工期短縮も見込まれる。

## 2. 形状・寸法及び種類

2-1 形状・寸法及び種類 ランナー野縁の形状・寸法及び種類を表1. に示す。

表1. 形状・寸法及び種類

商品名	板厚	寸法		定尺	断面形状
		A	B		
ランナー野縁 100型	1.6	121	99	3000	
ランナー野縁 90型	1.6	111	89		
ランナー野縁 75型	1.6	96	74		
ランナー野縁 65型	1.6	86	64		
ランナー野縁 100型	0.8	121	98		
ランナー野縁 90型	0.8	111	88		
ランナー野縁 75型	0.8	96	73		
ランナー野縁 65型	0.8	86	63		
ランナー野縁 50型	0.8	70	48		
ランナー野縁 45型	0.8	65	43		
ランナー野縁 40型	0.8	60	38		
ランナー野縁 38型	0.8	58	36		

(単位:mm)

2-2 構成部材 ランナー野縁の型式ごとに構成部材を表2. に示す。

表2. 構成部材

商品名	補強材野縁受け	ハンガー	クリップ		備考
			内掛け用	外掛け用	
ランナー野縁 100型	C-100x50x20x2.3	○	○	○	※中間吊りを設ける場合 C-90用ハンガー製作可能。 ▲は60用ハンガーを使用し ビス止め固定とする。  外掛けクリップが無い場合 は内掛け用又はビス止め クリップを使用する。
ランナー野縁 90型	C-90x45x15x2.3	×	○	×	
ランナー野縁 75型	C-75x45x15x2.3	○	○	○	
ランナー野縁 65型	C-65x30x10x2.3	○	○	○	
ランナー野縁 50型	C-50x30x10x1.4	▲	○	×	
ランナー野縁 45型	C-45x30x10x1.4	▲	○	×	
ランナー野縁 40型	C-40x20x10x1.6	○	○		
ランナー野縁 38型	CC-25 (C-38x12x1.6)	○	○		

2-3 補強材野縁受けの最大限度長さ

ボード仕様別に表3. に示す。

表3. ボード仕様別 最大限度長さ一覧表

補強材野縁受け (@900)	ボード仕様	最大限度長さ		
		1,000	2,000	3,000
C-100x50x20x2.3 (ランナー野縁 100型対応)	A	3,600		
	B	3,450		
	C	3,100		
	D	2,850		
C-90x45x15x2.3 (ランナー野縁 90型対応)	A	3,350		
	B	3,200		
	C	2,850		
	D	2,600		
C-75x45x15x2.3 (ランナー野縁 75型対応)	A	3,050		
	B	2,900		
	C	2,600		
	D	2,350		
C-65x30x10x2.3 (ランナー野縁 65型対応)	A	2,650		
	B	2,550		
	C	2,250		
	D	2,050		
C-50x30x10x1.4 (ランナー野縁 50型対応)	A	2,150		
	B	2,100		
	C	1,800		
	D	1,650		
C-45x30x10x1.4 (ランナー野縁 45型対応)	A	2,050		
	B	1,950		
	C	1,700		
	D	1,550		
C-40x20x10x1.6 (ランナー野縁 40型対応)	A	1,800		
	B	1,750		
	C	1,500		
	D	1,350		
CC-25 (C-38x12x1.6) (ランナー野縁 38型対応)	A	1,600		
	B	1,500		
	C	1,300		
	D	1,200		

(単位:mm)

A	化粧石膏ボード <sup>9.5</sup> (不燃)	6.9kg/m <sup>2</sup>
B	石膏ボード <sup>12.5</sup>	8.4kg/m <sup>2</sup>
C	GB-R12.5+岩綿吸音板12	13.2kg/m <sup>2</sup>
D	石膏ボード <sup>12.5</sup> +12.5	16.8kg/m <sup>2</sup>

※補強材野縁受けの最大限度長さは、通常の支点間距離900の1/360 2.5mm以下をたわみの許容変形量として計算する。(建設大臣官房官庁営繕部編集の内装仕上施工管理者教育テキストより)

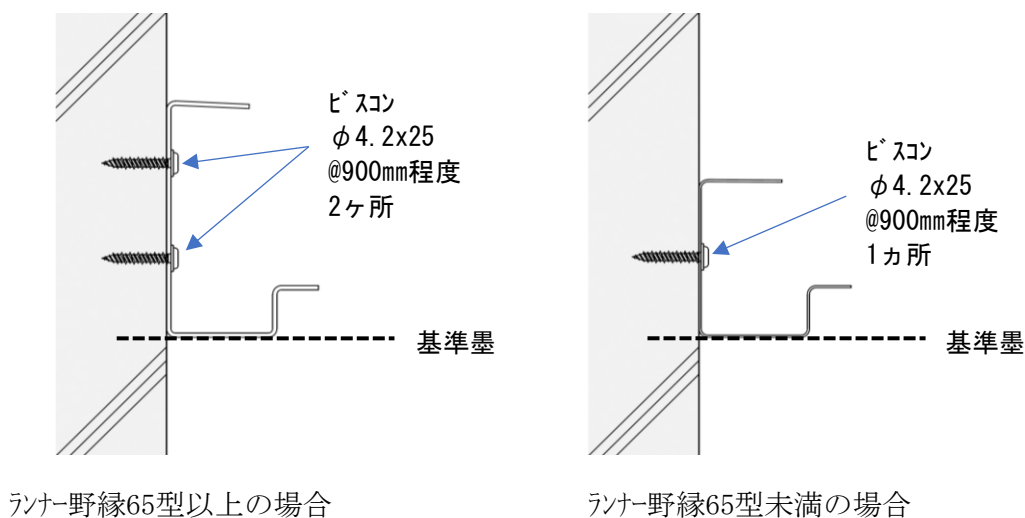
### 3. 標準施工要領

仕上げ材の仕様、天井の重量、寸法等により補強野縁受けを2-3 表3. より選定し、2-2 表2. で使用するランナー野縁と附属するクリップ等を決定する。ランナー野縁の型式によってビスの固定方法が異なるので注意すること。

#### 3-1 ランナー野縁の取り付け

図1. の要領で壁面の基準墨に沿ってビス止めする。ビス止め間隔はランナー野縁の端部を抑え@900mm程度とする。

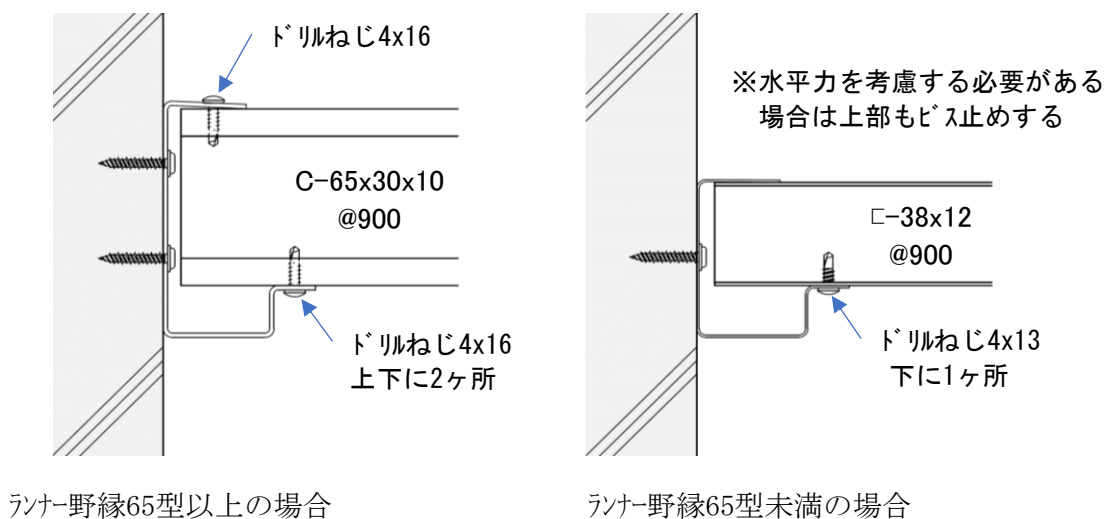
図1. 取り付け詳細（ランナー野縁）



#### 3-2 補強材野縁受けの取り付け

野縁受けを@900mm程度でランナー野縁に差し込み、図2. の要領でビス止めする。

図2. 取り付け詳細（補強材野縁受け）

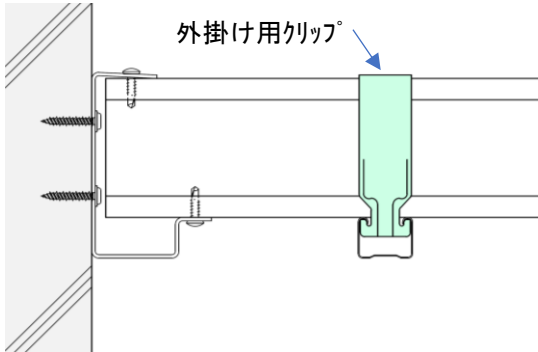


※補強材野縁受けをハガー等で吊る場合は、壁から吊元までの距離が表3. の最大限度長さ以内であることを確認して設置する。

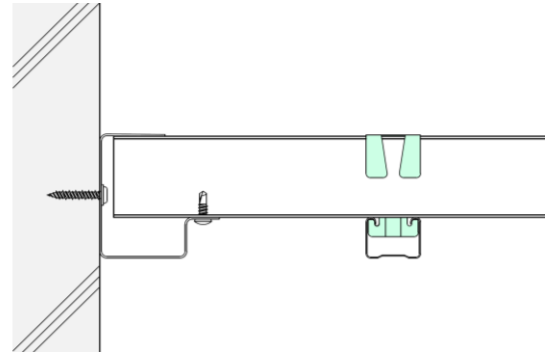
### 3-3 野縁の取り付け

野縁をボード仕様に合わせクリップで取り付ける。クリップは野縁受けに対して交互に取り付けるものとする。野縁受けがリップ溝形鋼の場合は内掛け用を使わずに外掛け用クリップを交互に取り付けてもよい。

図3. 取り付け詳細（野縁）



野縁受けがリップ溝形鋼の場合

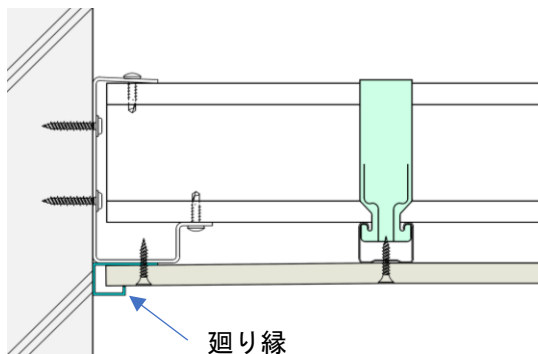


野縁受けがC型の場合

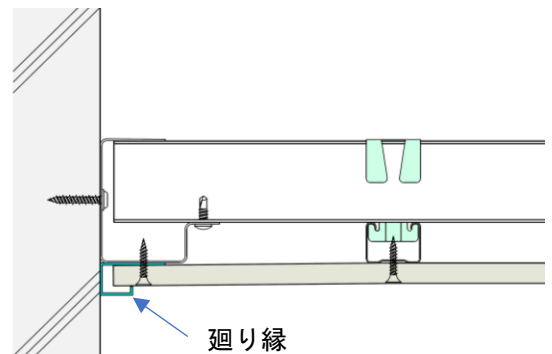
### 3-4 仕上げ材の取り付け

ランナー野縁に廻り縁を取り付けた後、せっこうボードをビスで取り付ける。

図4. 取り付け詳細（仕上げ材）



野縁受けがリップ溝形鋼の場合



野縁受けがC型の場合